

## 病害虫発生予察情報（飛騨地域） 9月予報

### 【 普通作物 】

#### トビイロウンカ

予察灯での誘殺は認められず、ほ場調査でも発生は確認されていませんが、西日本を中心に多発傾向であり、これまで10県で注意報および警報が発表されています。本虫は世代を重ねるごとに密度が増加するため、収穫時期の遅い水田ほど被害が大きくなる傾向があります。収穫が遅い水田においては発生を確認した場合、ただちに防除を実施してください。

### 【 野菜 】

#### トマト灰色かび病

トマトほ場における発生量は8月下旬の調査では平年並で推移しているものの、ほ場内では葉先枯れ等が散見され、名古屋地方气象台によると今後は降雨が多いと予報されていることから、発生の増加が予想されます。枯死部のこまめな除去と薬剤散布（同一系統の連用は厳禁）を行ってください。

#### タバコガ類

高山市丹生川町に設置したフェロモントラップへのオオタバコガ誘殺数が多くなっています。食害痕がみられる果実は本幼虫が寄生している可能性が高いため、ほ場の外へ持ち出して適切に処分してください。

薬剤防除を行う場合、中齢幼虫以上になると果実に食入し薬液がかかりにくくなるため、早期発見に努め、若齢幼虫期に防除を行ってください。薬剤散布の目安は卵が散見されてから約5～7日後です。

### ○主な病害虫の発生状況及び今後の予測（9月）

病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項	
		1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬		
ホウレンソウ	べと病	並	< 20℃前後で発生 >						べと病 感受性品種では、月後半に発生の恐れがあることから薬剤の予防散布を行う。
	コナダニ類	並	< 盛夏を超えると多発 >						
	防除適期		▲←		▲←		→▲	コナダニ類 盛夏を過ぎるとほ場により多発することがあるため、発生に注意する。	
トマト	灰色かび病	やや多	< 多湿条件下で多発 >						灰色かび病 花がらや葉先枯れはすぐに除去する。発生後はできるだけ早い時期に治療効果が高い薬剤で進行を止める(葉かび病も同様)。同一系統薬剤の連用は避ける。
	葉かび病	並	< 多湿条件下で多発 >						
	防除適期		▲←		▲←		→▲	葉かび病 樹勢低下防止と防除を徹底する。	
野菜全般	アブラムシ類	少	< 有翅虫飛来に注意 >						アブラムシ類 有翅虫が確認されたら防除を行う。
	タバコガ類	多	< 幼虫発生最盛期 >						
	防除適期		▲←		▲←		→▲	タバコガ類 防虫ネットの被覆がない場合は注意する。若齢幼虫期に薬剤防除を行う。	
果樹全般	生育(高山市)	並							(生育はリンゴ) カメムシ類 飛来が認められた場合は直ちに防除を実施する。
	カメムシ類	多	< 第1世代成虫 >						
	防除適期		▲←		▲←		→▲		

注) ▲、▲←→▲: 防除適期

調査データ

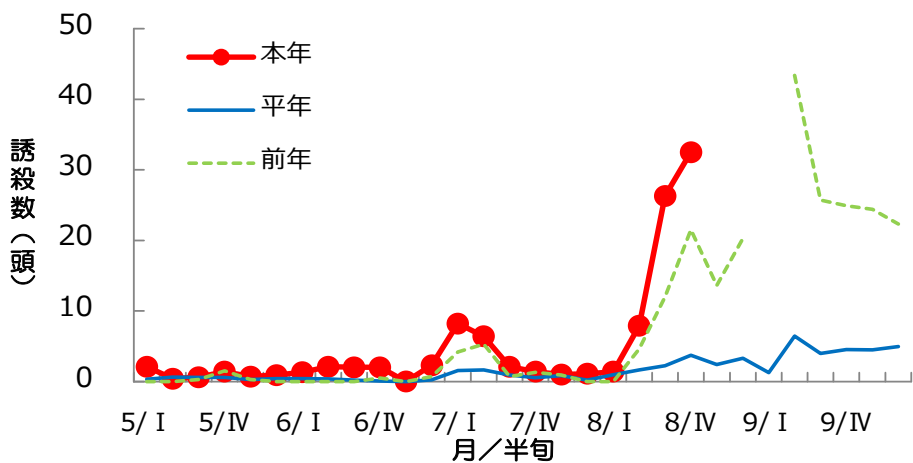


図1 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺数の推移 (高山市丹生川町)

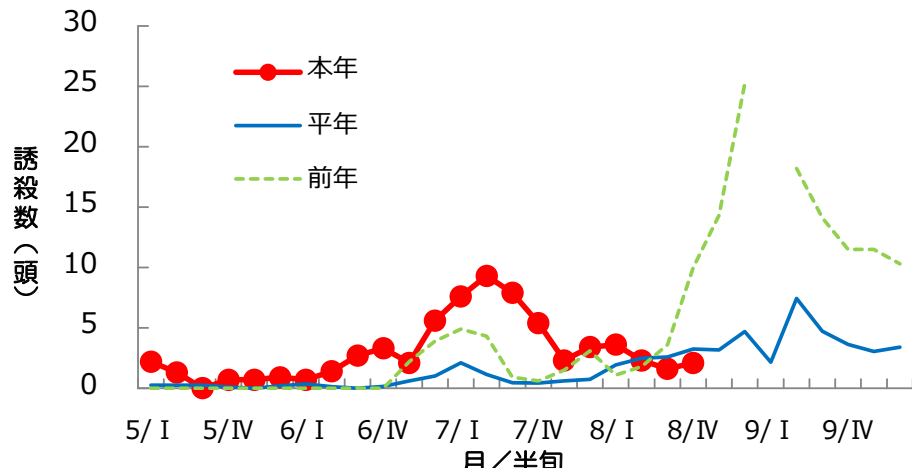


図2 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺数の推移 (下呂市御厩野)

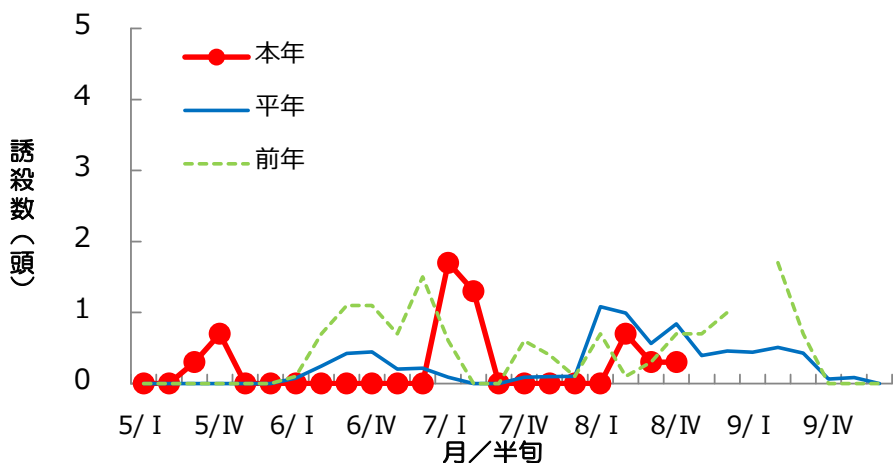


図3 フェロモントラップによるタバコガ誘殺数の推移 (高山市丹生川町)

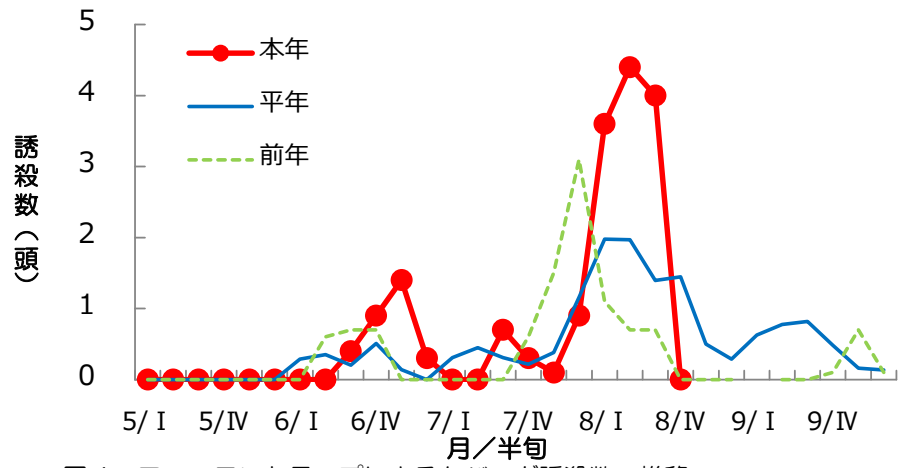


図4 フェロモントラップによるタバコガ誘殺数の推移 (下呂市御厩野)

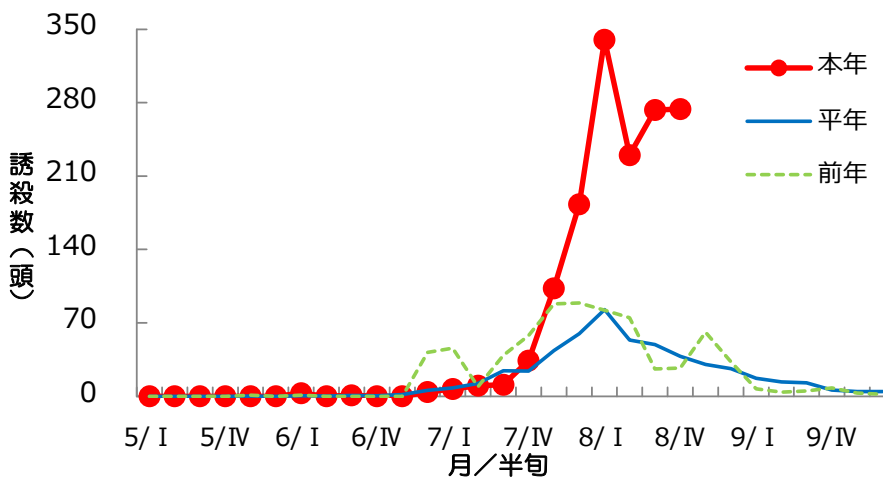


図5 予察灯による果樹カメムシ (クサギカメムシ) 誘殺数の推移 (高山市国府町)

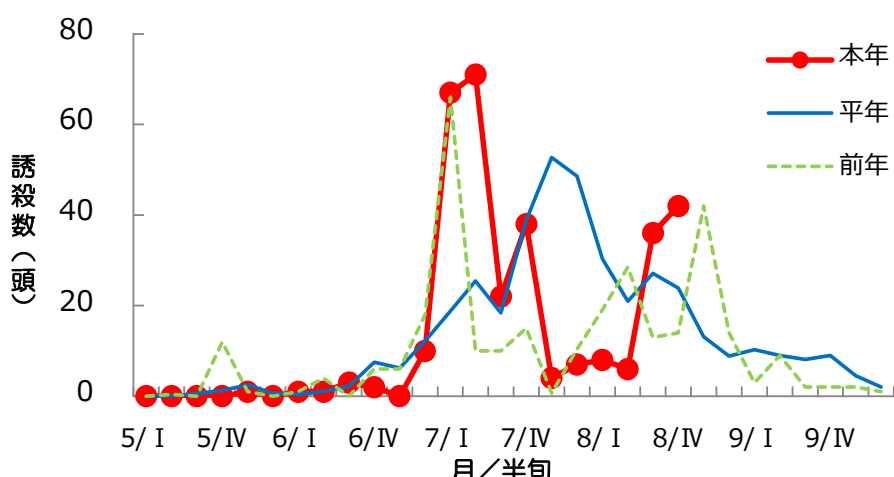


図6 予察灯による果樹カメムシ (チャバネアオカメムシ) 誘殺数の推移 (高山市国府町)



図7 葉先枯れ部についた灰色かび病



図8 灰色かび病果実被害



図9 オオタバコガ幼虫と果実被害

東海地方 1 か月予報 (名古屋地方气象台 8月22日発表)

向こう1か月の気温は高く、降水量は多く、日照時間は少ないと予想されます。天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>

飛驒支所 〒506-8688 高山市上岡本町 7-468 TEL (0577) 33-1111(内線 245) FAX (0577) 34-2706